つがる市立図書館

7月29日（金）オープン！

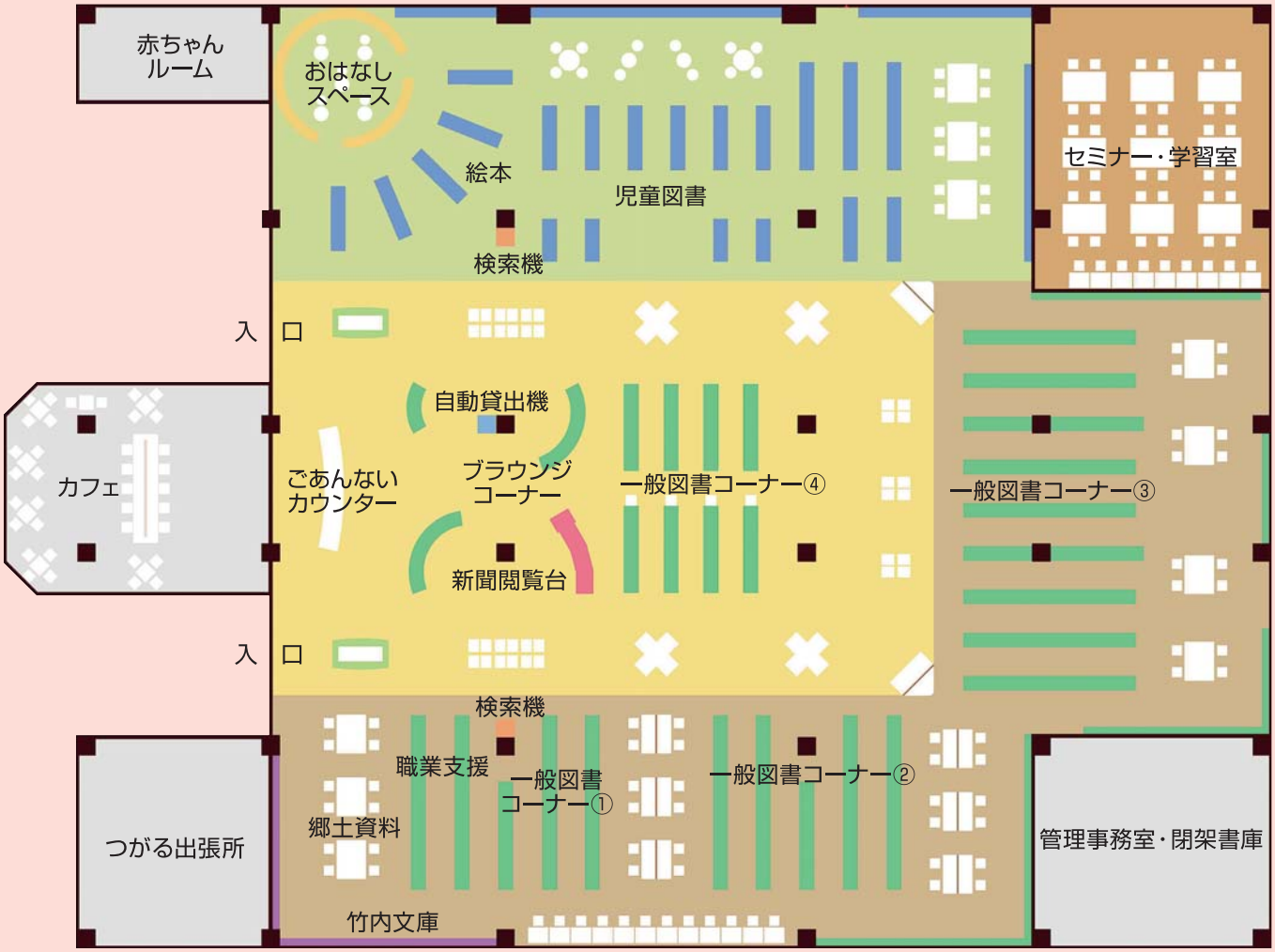
木材を用いた明るく、あたたかみのある空間で、ゆったりと読書できます

「こころ豊かな人づくりと市民の豊かなくらしを育む図書館」をコンセプトに７月29 日、つがる市立図書館がイオンモールつがる柏内に開館しました。蔵書数８万冊（最大12万冊）、学習室45席を含め全185席を設置。

生涯学習の拠点として、また、本と気軽にふれあえる居心地の良い空間として来館者の皆さまをお待ちしております。今回はその図書館内をご紹介します。

フロアマップ

場所：イオンモールつがる柏 別館１階（ヴィレッジヴァンガード向かい）



つがる市立図書館の特徴

回遊型レイアウト、カフェの併設など、居心地の良い空間を提供します。

基幹産業である農業をはじめ、就労を支援する資料の充実を図ります。

デジタル学習教材を導入し、小中学生向けの学習支援をします。

自動貸出機、リライトカードを導入し、コンビニエンス感覚でご利用いただけます。

司書スタッフによるレファレンスサービス（来館者の調べもの・探しものをお手伝い）など、来館者のニーズにお応えします。

カフェを併設し、読書の間の休憩や待ち合わせにご利用できるエントランス。蓋付きの飲み物は一部館内へ持ち込みできます

雑誌や新聞を気軽にめくれるブラウンジコーナー

児童図書コーナー。お子様自身で本を選び、戻すことができるよう書棚を低く設定。床に柔らかい素材を使い、明るくやさしいデザインです

郷土資料･職業支援コーナー。基幹産業である農業関連書籍や、名誉市民・元県知事の竹内俊吉氏が残した書物も並びます

つがる出張所が併設されます

学習などに集中できるセミナー・学習室。45席を設置

自動貸出機

■図書館のご利用にあたって

開館時間　10時から20時（小学生、中学生だけで利用する場合は、19時までに帰りましょう）

休 館 日　毎月最終月曜日（ただし、異なる月もあります）

図書の貸し出しについて

お申込みをされた方に図書カードを交付します。その際、本人確認のため保険証などが必要となります。
図書カードを交付後、一度に５冊、14日間まで借りることができます。

【問い合わせ先】つがる市立図書館　☎25-3131

待望のつがる市立図書館が開館

つがる市立図書館会館式が7月29日、市立図書館前で行われ、関係者含め約400人の来館者が開館を祝いました。式では福島市長が「市民が身近に本に触れ、読書に親しめる図書館を目指します。近隣市町の皆さまもぜひ活用してください」とあいさつ。来賓の祝辞、祝電披露の後テープカットが行われ、めでたく開館しました。式に続いて、イオンモールつがる柏内のシャコちゃんコートでは木造高校吹奏楽部による演奏会、屋外の特設会場ではスイカやメロン、この日発売のメロンシャーベットなどの即売会が行われ、多くの人でにぎわい、開館を盛り上げていました。

児童図書コーナーで本を選ぶ親子連れ

つがる市立図書館オープン記念「つがる市読書まつり」

日　時　8月18日（木）11時～12時30分　　**会　場**　つがる市立図書館

内　容
- 古本市（中古本を無料プレゼント）
- 本探しゲーム＆クイズ（正解者にはささやかなプレゼントあり。先着50名）
- 手作り絵本コーナー（材料費無料、先着30名）夏休みの工作にも‼
- 無料ブックコーティング（あなたの大切な本をコーティングします。1人1冊）

参加料　無料　　**申し込み**　不要　　**【問い合わせ先】つがる市教育委員会　社会教育文化課　電話49-1200**

つがる市立図書館オープン記念イベント

講演＆トーク

「僕の心を支えてくれた本、目を開いてくれた本」

講師：茂木健一郎先生（脳科学者）

11歳のとき『赤毛のアン』に出合っていなかったら、いまの自分はない！
本の読み方ひとつで、人は大きく変わることができる！

―― テレビでおなじみの脳科学者・茂木健一郎先生が、ご自身の子ども時代を振り返りながら、本の魅力や読み方、勉強の仕方などを楽しく紹介します。

茂木 健一郎（もぎ・けんいちろう）

脳科学者。㈱ソニーコンピュータサイエンス研究所シニアリサーチャー。
1962年、東京生まれ。東京大学理学部・法学部卒業、東京大学院理学系研究科物理学専攻課程修了。理学博士。理化学研究所、ケンブリッジ大学を経て現職。
ひらめきや気づきの瞬間に「あっ!」と感じる体験を「アハ体験」として紹介。著書に『頭は「本の読み方」で磨かれる』(三笠書房)、『「赤毛のアン」に学ぶ幸福になる方法』(講談社文庫)、『15歳の寺子屋 ひとり遊びのススメ』(講談社)、『脳を活かす勉強法』(PHP文庫)、『脳と仮想』(新潮社、第4回小林秀雄賞)、『今、ここからすべての場所へ』(筑摩書房、第12回桑原武夫学芸賞)など。

日 時　8月18日(木)14時から15時30分

会 場　イオンモールつがる柏内 シャコちゃんコート

参 加　参加費無料
コート内特設席(120席)は小中学生、高校生の皆さんを優先します。図書館カウンターにて、8月5日（金）10時より整理券を配布いたします。立ってご覧いただく場合は、整理券は不要です。

【問い合わせ先】つがる市立図書館　電話25-3131

託児をお受けいたします（茂木先生の講演を聞く方、先着10名様まで）　締め切りは8月16日（火）
※当日受け付けはいたしません
【託児の申し込み先】　つがる市教育委員会　社会教育文化課　電話49-1200

つがるブランド認定メロンを全国へ

ブランド認定シールを貼る市長ら

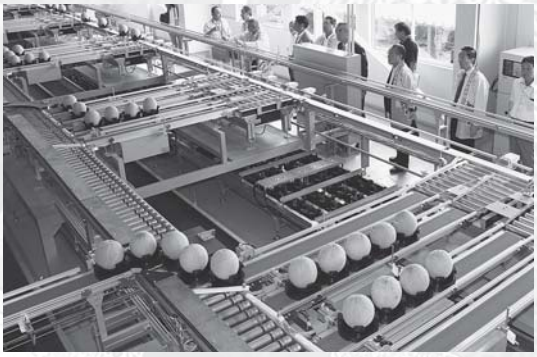
つがるブランド認定メロンの初出荷式が7月19日、ごしょつがる農協木造総合支店で行われ、関係者ら約60人が出席し、タカミメロンなど3,200ケースの出荷を祝いました。

今年から、ごしょつがる農協のメロン選果機を使った、同農協とつがるにしきた農協の共同選果が開始。これにより、糖度や大きさなどの選果基準が市内で統一されたため、より品質に信頼が置けるようになりました。

式ではいなほ保育園（倉内泰雄園長）の園児14人が、メロンを乗せたトラックの運転手に花束を贈呈。福島市長や来賓らのテープカットの後、関係者に見送られながら、トラックが出発しました。

つがるブランド推進会議会長を務める福島市長は「今年も生産者の努力が実り出荷できてうれしい。共同選果の開始などブランド化推進が盛り上がっており、さらなるつがるブランドの信頼獲得を期待します」と話していました。

運転手に花束を贈る園児


光センサーなど搭載した正確な選果機

地産地消で郷土愛を育む

メロンをほおばる児童

車力小学校（川越しづ子校長）の児童が7月15日、地元特産のメロンを全校交流給食で食べ、「地産地消」の良さを感じながら交流を深めました。この日は全校児童42人が体育館に集まり、6つの縦割り班に分かれて給食スタート。木造越水地区で獲れたタカミメロンをみんなで食べながら交流しました。

開米祥也くん（3年）は「みんなで給食を食べるのは初めてで、楽しかった。メロンもおいしくて、おかわりできなかったのが残念」と話していました。給食終了後はつがーるちゃんが登場。子どもたちは歓声を上げながらつがーるちゃんを取り囲み、笑顔でふれあっていました。

川越校長は「地産地消を通じて、子どもたちにふるさとへの感謝のこころを持ってほしかった。今後も地域とふれあう活動を続けて、子どもたちの“郷土愛”を育んでいければ」と話していました。

収穫期迎える農産物のパトロールを強化

メロン畑を巡回する隊員ら

7月24日、生産者が大切に育てた農産物を盗難の被害から守ろうと、メロンロードパトロールが始まりました。これは、毎年メロンやスイカの収穫時期に合わせ、市防犯協会、警察署、防犯指導隊などが連携して実施しているものです。今年は、7月25日からパトロールを開始する予定でしたが、7月24日に木造吹原地区でメロンの盗難事件が発生。これを受け、24日からパトロールを強化しました。

7月25日、市役所前で行われた出動式で福島市長は「昨日、メロンの盗難事件があり、誠に遺憾。メロンやスイカの収穫を終えるまで、盗難防止に全力を挙げていただきたい」とあいさつ。つがる警察署の小坂一男署長の激励、市防犯指導隊の手嶋成信隊長の決意表明の後、約30人の隊員らがパトロールを行いました。